

学校教育目標：よりよく生きぬく力《たくましい子・考える子・思いやる子》

釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO6
令和5年 8月28日(月)
校長 山田 隆二

夏休みから2学期へ

今年の夏は猛暑が続きました。そうかと思えばいきなり大粒の雨が降ってくることもあり、子供たちが外で元気よく遊ぶ姿はどこへやら…逆に外で遊ぶ子供の心配をしなければならないような気候でした。登校していれば「WBG T31℃以上の日」が何日もあり、下校させることができないような状況でした。

さて、今年は、第105回全国高等学校野球選手権大会(甲子園)で「クーリングタイム」が導入されました。何か催しをしようとする「熱中症」を心配することになります。試合の途中で10分間エアコンの効いた場所で体を整えるということを実施し、熱中症で苦しまなくてよい状況を作られました。

野球に限らず、どの競技においても同様に、熱中症の心配をしなくてはならない気候になってしまったことは否定できません。今年は10月ごろまで暑い日が続くようなことを言っています。暑さ対策は忘れず、子供たちの命の安全を第一に2学期も頑張っていきたいと思います。

さて、夏休み中は、家族の一員として子供たちは活躍したでしょうか。普段、学校で掃除を頑張っている子は、家でも掃除を頑張ったことでしょうか。また、給食当番を頑張っている子は、家でもご飯の準備や片づけを頑張ったことでしょうか。これらはほんの一例に過ぎませんが、普段のお子さんの様子がイメージできる場面がいくつもあったのではないかと思います。

また、地域でも夏まつりをはじめ、様々な催しがありました。それぞれの場面で、地域の方は子供が活躍したり、楽しんだりするよう計画されました。楽しく参加されたことと思います。釜戸の夏まつりでは、3・4年生の児童がバサラ(よっちょれ)を踊りました。体育発表会から日にちが空いたので休み時間等を使って練習しました。参加希望の1年生も一緒に練習しました。練習から本当に楽しく取り組むことができ、夏まつり当日も心から楽しそうに踊りを披露することができました。保護者の方もスマホで動画を撮り、ご家庭で楽しめたのではないかと思います。また地域の方も笑顔で子供たちが踊る姿を見ていらっしゃいました。ご年配の方で「**子供たちから元気をいただいたわ！ありがとうね**」

と、わざわざ伝えてくださる方もありました。地域と学校と家庭がつながった瞬間でした。

2学期も「太鼓の取組」「スナッグゴルフ」等々、たくさんの学習を計画しています。その都度、地域の皆様に支えていただくこととなります。子供たちには「学んだことの喜び」「感謝の思い」を具体的な言葉や文字にして伝える活動まできちんと指導していきたいと思います。

さらに、保護者の皆様には、これからも「お子様の成長を願って」担任が相談させていただくこともあろうかと思えます。たとえ、トラブルがあってもそれは成長の過程ととらえ、お子様を家庭、地域、学校の真ん中において、双方からその成長を支えていきたいと思えます。

◇◇ お知らせ ◇◇

育児休暇をいただいております事務職員の長屋美穂が8月1日から復帰いたします。学校に電話連絡等いただく際には、声を聞いていただけるかと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

